

～「第8回東アジア地方政府会合」に参加しました～

東アジア各地方政府の代表が、地域の実情や課題を報告し合い、共通する課題の解決に向けて議論を行う「第8回東アジア地方政府会合」が、これまで開催してきた奈良の地を離れ、中国・四川省成都市にて開催されました。初の海外開催となった当会合に、奈良県も参加しました。

○日 程 平成29年5月10日(水)～ 11日(木)
テーマ別討議、基調講演、記者との交流時間、視察等

○主 催 中国 四川省成都市

○会 場 四川省成都市 世紀城国際会議センターほか

○テーマ 「政策創新と地域の発展」

討議テーマ1：「観光政策における創造と革新」

討議テーマ2：「産業・雇用政策における創造と革新」

討議テーマ3：「まちづくり政策における創造と革新」

○参加地方政府 6か国31地方政府

(中国8、インドネシア1、マレーシア1、韓国3、ベトナム4、日本14)



会議風景

○全体概要

- ・ 今回の会合は、「政策創新と地域の発展」をメインテーマとして開催されました。開会に当たり、事務局を代表して荒井知事が「会合が、今回初めて奈良県以外の地・成都市で開催される運びとなり、新たなステージに到達したことを嬉しく思う。会合

のより一層の充実、発展に向け、引き続き努力してまいりたい。」と挨拶し、続いて主催者である成都市を代表して羅強市長が挨拶しました。その後の基調講演では、本保芳明 国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所代表より「観光政策における創造と革新 ～リーダーシップ、継続性、体系性～」と題して講演が行われたほか、霍偉東 中国・西南财经大学教授、Ha Ke San ベトナム・フートー省副省長により、講演が行われました。



奈良県・荒井知事挨拶



成都市・羅強市長挨拶



基調講演（本保氏）

- ・ 討議では、「観光政策における創造と革新」、「産業・雇用政策における創造と革新」、「まちづくり政策における創造と革新」の3つのテーマについて議論がなされました。各討議テーマに関する会員地方政府の取組事例の発表のほか、川口正志 奈良県議会議長、岩村敬 元国土交通省事務次官ほか有識者を交えて活発に意見交換が行われ、行政課題の解決に向けた議論を深めました。



----- 討 議 風 景 -----

- ・ 視察プログラムでは、成都市のまちづくりの歴史と計画が展示されている「成都市規画館」を訪問した後、技術の創造や産業育成が行われている「成都科学城」を視察しました。また、観光拠点のひとつであり、中国国家級科学普及・教育の拠点に指定されている「パンダ繁殖と研究基地」を視察しました。



成都市規画館



成都科学城



パンダ繁殖と研究基地

- ・ 討議等を通じ、この会合が、東アジア地方政府相互の学び合い、交流の場として大変有意義な取組みであることを、参加地方政府が改めて確認する機会となりました。